

附属機関等会議録

令和5年2月23日

会議の名称	令和4年度 第4回島田市中小企業・小規模企業 振興推進会議
開催日時	令和5年2月13日 13時30分から 15時00分まで
開催場所	島田市役所 第3委員会室
会議の議題	1 開会 2 説明及び意見交換 ・販路開拓に係る補助金について ・人材確保・育成に向けた取組の検討にあたって 3 閉会
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開（ 全部 ・ 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	公開
公開の場合の傍聴人の数	3人
出席者の氏名等	別添資料のとおり
会議の結果	<p>今回会議は、前回に引き続き販路拡大及び人材確保・人材育成について議論した。</p> <p>販路拡大の補助金については、前回会議からシフトした点として、海外への出展事業を対象にすることした事業案を事務局から示した上で、内容を議論した。</p> <p>人材確保については、企業が抱える課題やそれに対する解決方法を実際にあったケースを共有し、人材育成については、他自治体等で実施されている事業を共有し、それらをヒントに来年度の施策検討に繋げるための議論をした。</p> <p>委員から挙げた発言（意見や質問等：●）と事務局の発言（回答等：→）は以下のとおり。</p>

【販路開拓事業費補助金について】

- 団体の会員中に、どの程度海外との取引があるかを見たところ5、6者は既に海外で取引をしている。これから海外展開を考えている方もかなりいるようなので、面白い補助金だと思う。
- 島田市から海外に積極的に出て欲しいというメッセージになると思うので、海外に特化している点や内容についても概ね良いと思う。
- 市内で操業している中小企業、協同組合等の意味合いは、納税を基準とした企業なのか、事業所、営業所、工場が市内にあれば対象となるのか。
→市内に主たる事務所を置く中小企業、協同組合等を対象にしたいと考えている。
- 営業所だけでは対象にならないということか
→様々なパターンがあると思うが、主たる事務所をどのように捉えるかということになるため、過去の事例を見ながら決めていきたい。
- 予算はどれほどを考えているか
→予算額は200万円（40万円×5件）を考えている。
- 上限40万円の高い低いはわからないが、補助金制度自体はすごく良いものだと思う。海外に出る中では、資料にあるとおり、セミナーや個別商談会をジェットロと連携して実施することがすごく重要だと思う。中小企業は、海外で何ができるのか、どの業種が対象になるかなど、わからないことばかりだと思う。ただ、海外に出たいと思う企業はたくさんいると思う。セミナーや商談会は海外進出への第一歩として、くだけた形で積極的にやった方がいいのかなと思う。補助金ありきというより、その部分を充実させてはどうかと思う。
- 茶業を営む方から、ヨーロッパの方で販路を見つけるためのマーケティングができないかという依頼を受けたが、実現しなかった事案があった。この補助金でマーケティング費用は対象になるのか

、また、マーケティングに際してジェットロから協力は得られるのか。

→今想定する中では、実際に海外に進出するためには、事業者が持つ商品をそのまま海外にもっていけるのか、ニーズに合うのかなどの市場調査は大事だと認識している。その中で、補助限度額（40万円）でどこまでできるのかということもある。調査業務では、いくつかの事前手続きで費用が発生することが調べでわかっているが、補助対象として含めていない。というのも、ジェットロや県の補助制度や紹介した「ものづくり・商業・サービス補助金」の中で、その部分を対象にしていることがあり、上手く使い分けをしていただきたい。限られた予算であるので、示したものを対象にしていきたいと考えている。

→調査業務でジェットロの支援を受けられるかについて、ジェットロは総合的に支援していることを聞いている。進出前の段階が重要なことは事務局としても認識をしているため、ジェットロやシーバと連携して総合的な支援ができればと考えている。

● ジェットロなど、他の補助制度を使った場合でも重複して利用できるか

→例えば、翻訳に係る部分をそれぞれの制度で補助し合い100%の補助ということにはできないと考えているが、補助対象経費が異なれば併用できるような形を考えている。

● この補助金は成果を求められるのか。

→申請時に目標を設定していただくことを考えている。展示会に出てすぐに契約成立というものではないと思うので、例えば、商談数や名刺の配布枚数といった目標を設定し、事業実施後に実績として報告してもらうことを考えている。

【人材育成・人材確保について】

● 高校生を連れて企業の職場見学をさせてもらったことがあるが、企業側は例えば製品の魅力を一生懸命に伝えてしまう。ただ、学生はその部分を求めていなくて、興味が湧かず集中できていないよ

うな状況もありました。例えば、生徒に対してどのような視点をもって話をするかなど、人事担当者向けの研修を実施することも有効なのではないかと思う。先日出席した会議で、大学教授の発言として、学生に対して行う就職活動のアドバイスや指導内容に関するものがあった。大学側がどのような指導をするのか求人側が知らない状況では、ギャップが生まれてしまう。そういった面からも人事担当者に対する研修については、有効だと思う。

- 人材確保・育成について考えられるのは、地元の子がいかに残ってくれるか、いかに外から移住してもらおうかだと思う。行政でどこまでどのようにできるかはあると思う。今日の資料を見ると、良く調べている印象を受け、感心して見ているところ。今、同友会では、定時制の高校に出向いて仕事・社会とはどのようなものかについてパネルディスカッションを実施する予定でいる。セミナーや講演会などをおして、地元で働くことや企業の魅力を発信するなど、行政でできることを来年度検討していったらどうなのかと思う。
- 各高等学校の進路指導の先生が、現代の生徒の考え、就職に対する思いやこんなニーズがあるといったことを各企業の方々に話をする場があれば、人材確保の観点でもひとつきっかけができるのかなと思う。
- 学校現場ではキャリア教育を既に進めていて、その中で探究活動というものが10年以上前からあった。例えば、地元の良いものを紹介しようという取組で、こどもたちが地元のことを調べ、製品や観光の魅力を紹介していたように思う。ただ、職業について具体的に調べることは、多くなかったと認識している。前にも申し上げたとおり、中学2年生は、地元中小企業のご協力のもと3日間程の職業体験をしている。体験の前には学校で、地元で仕事をする方から働くことの心得や魅力を話していただいている。

- 人材確保に繋がる活動をいくつか示されたが、小中学校で現在実施していることでなく、別の魅力を伝えられるような事業でなければと思う。たとえば、企業ブースを集めて企業の説明をしたとしても、既に職業体験前に学校でも話を聞いている子どもたちが、自ら興味を持って積極的に話を聞きに行くかという疑問が残る。今までやってきたキャリア教育とは違う魅力を感じられることが必要ではないかと思う。
- 生徒が発信することで、地域の事業者がコメントをくれたりすることがある。商品開発のように、商品化に繋がるようなものは生徒の更なる意欲に繋がっていく。そのように新しい魅力を感じられる事業（発信の仕方）を実施すれば本会議で狙っているところに近づいていくのかなと思う。
- 資料2のケース2で、未経験者でもやる気のある人材を採用し、全体で育成する体制としたとある。最近では、リスクリングが報道で取り上げられて、よく聞くようになった。それについて、行政からの支援があることも報道にあった。資格者、経験者を募集してもなかなか集まらない状況がある。未経験の方でも「学び」を保証するという条件で、例えば、研修という学びの場が知識や資格の習得に繋がりますという面を押し出すことなどで、就労意欲や学習意欲のある未経験の方を採用する方向性もあると思った。
- 報道の中で、パートを掛け持ちしていたシングルマザーの方が、身体的な疲労を理由に退職したものの、行政からリスクリングに対する支援があり、それをきっかけに学び直したことで、非正規ではあるが採用されたという話があった。採用されたことが、安定した収入とこどもとの時間確保に繋がったという事例もあった。潜在的な労働力を掘り起こすという意味ではそういった発想もあるのではないかと見ていて思ったところ。
- 同友会でも生徒に向けて話をする機会があった

が、確かに反応が薄いこともあった。生徒が、単に聞くことだけで終わってしまったのかなと感じた。この先、市内の中高生がこのまちなに残りたい、仕事をしたいと思えるように魅力ある企業を紹介したり、生徒から企業に意見をもらって、それに向かって企業が努力し取り組んでいくような形など、コラボレーションはできないだろうか。

● 学生に仕事（業務）内容の魅力を感じてもらえるとありがたいが、それだけでなく例えば、働きやすさやステップアップできる環境など、働くこと自体の魅力を感じられると、これまでと違った目線で考えられると思う。中学生あたりまでは、具体的にどの職業に就きたいかにまで至っていないと思う。中には、親御さんの姿をみて具体的な将来像がある子もいると思う。働くことが楽しそうだと感じる魅力を伝えることが良いと思う。

● 学びの中での魅力は、学びに対してフィードバックがあることだと思う。先程の商品開発の話で言えば、商品として実際に世の中に出回るであるとか、発信した内容をほめてくれたとか、この部分を会社で採用したいといった言葉などは、すごく嬉しく感じるので、そのようなやりとりがあるつながりがすごく良いと思う。

提出された資料等	別添資料のとおり
会議を所管する課の名称	産業経済部 商工課
その他必要な事項	